

SINCE 1908

Solis

真空パック器

ソリスバックプレミアム

品番：SK574

取扱説明書

保証書付き



はじめに

この度はソリスバックプレミアムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
取扱説明書(本書)をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

- ・「安全上のご注意」をご使用前に必ずお読みください。
- ・保証書は「お買い上げ日、販売店名」などの記入をご確認の上、大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	2~3
各部のなまえ	5
操作パネル	6
使いかた	7~13
ご利用にあたって	14
袋の破裂防止について	14
お手入れのしかた	14
故障かな?と思ったら	15~16
仕様・消耗品/別売品について	17
アフターサービスについて	18
修理についてのご質問	18
ソリスバックプレミアム保証書	裏表紙

安全上のご注意

安全にご使用いただくために、この「安全上のご注意」をよくお読みください。
本取扱説明書は、ソリスジャパン株式会社ウェブサイトでもご覧になれます。
<http://www.solis.co.jp/>

安全上のご注意は次のように区分しています。

 警告	誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示します。

■ 図記号の例

⊘ 記号は「してはいけないこと(禁止)」の内容をお知らせするものです。

⓪ 記号は「しなければならないこと(強制)」の内容をお知らせするものです。

 警告	
	コンセントや配線器具の定格を超える使用はしない 火災・感電・やけどの原因になることがあります。 ・必ず交流100V で使用する ・延長コードや電源タップを使用しない
	電源コードに以下のことをしない 感電・ショート・火災の原因になることがあります。 ・傷つけない、無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない ・重いものをのせない、熱いものに近づけない、はさみ込まない ・加工しない、束ねたまま使用しない
	小さなお子様だけで使わせない 感電・けが・やけどの原因になることがあります。 ・幼児だけで使わせない ・幼児の手の届くところで使用しない ・幼児の手の届く場所に保管しない

 **警告**



水などの液体に濡らさない

感電・ショート・故障の原因になることがあります。

- ・本体を水につけない
- ・本体に水や汁をかけない



濡れた手で使用しない

ショート・感電・故障の原因になることがあります。

- ・濡れた手で使用しない
- ・濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない



分解しない

火災・感電の原因になることがあります。

- ・本製品を分解したり、改造したりしないでください。



使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜く

火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに電源プラグを持って抜いてください。
電源プラグを抜き差しする際は、本体カバーがロックされていないかを確認してください。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

不完全な差込は、感電や発熱による火災の原因になることがあります。

傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



電源プラグのほこりなどは定期的に清掃する

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

注意

-  使用中、使用直後は本体のシールバー、袋のシール部を手で触らない
やけどの原因になります。
-  保存物を袋のままオープンや直火でもどさない
袋から発火する原因になります。
-  袋は火のそばに置かない
袋から発火する原因になります。

ご使用前に

本製品は食品やその他の生活用品を袋に入れ、空気を抜いて密封する真空処理、保存物によっては密封（シール）処理のみをするなど、保存物を上手に保存するものです。

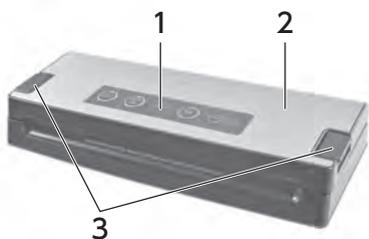
- ・食品を保存するときは、密封して、冷蔵庫や冷凍庫に入れてください。
- ・空気を抜いて密封したからといって「いつまでも大丈夫」と過信をしないでください。
- ・この製品には、殺菌作用はありません。保存には充分注意をしてください。
- ・食品の汚染を防ぐため、使用前には必ず器具、キャニスター、保存袋が清潔で破損がないかをご確認ください。

お願い

使いかたを誤りますと機器を傷めたりするなど故障の原因となります。

- ・水に接触する可能性のある場所で使用しないでください。内部に水分が入った場合は、きれいに拭き取りよく乾かしてから使用してください。
- ・火の近くや高温の場所で使用しないでください。
- ・屋外では使用しないでください。
- ・続けて使用する場合は**1分程度の間隔をあげ、器具を冷ましてから**使用してください。
- ・本製品には過熱防御装置が装備されています。シールバーの過熱を防ぐため、30袋を超える連続使用はしないでください。
- ・鋭利なものや先の尖ったものを中に入れてください。
- ・付属品、別売品はソリス専用のものをご使用ください。

各部のなまえ



1. 操作パネル

2. 本体カバー

3. リリースボタン

ボタンを引き上げるとロックが外れ、本体カバーが開きます。

4. コンタクトバー

ラバーコンタクトバーと本体側のシールバーでプレスすることにより、フィルムに均一に圧がかかり、密封の最適化が可能になります。

5. 留め具

6. 空気吸引ホース収納

溝に空気吸引ホースを収納できます。

7. キャニスタースイッチ

キャニスターの真空密閉をおこなう場合は、空気吸引ホースを接続してからスイッチを押します。

※ソリス純正のキャニスターを使用してください。

8. キャニスター用空気吸引口

空気吸引ホースを接続します。

9. 真空処理溝+ドリフトレイ

真空処理する場合は、フィルムの切り口をこの溝に差し込みます。

吸引によりしみ出してくる水分を受け止めるように、溝の内側にドリフトレイが入っています。トレイは簡単に取り外して洗浄できます。

10. シールバー

フィルムを熱により溶かし、シール(溶着)します。

11. 密閉用ガスケット(上下)

フィルムの密閉気密度を高めるためのガスケットです。

下部は取り外して洗浄できます。



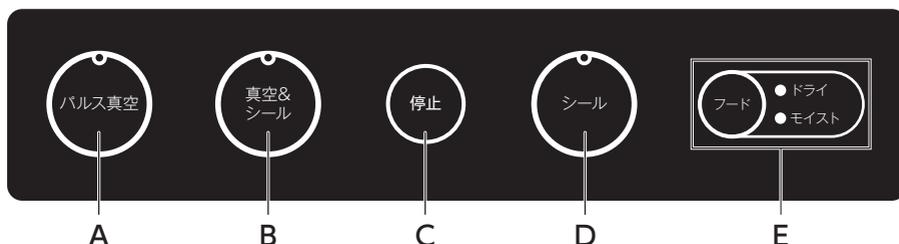
12. 電源コード巻取り収納スペース

13. 滑り止めゴム足

付属品

- 空気吸引ホース 1本
- ソリス真空パック器フィルムバッグ(20 x 30cm : 5枚/30 x 40cm : 5枚)

操作パネル



各操作ボタンを押すと、ライトが点灯または点滅し(停止ボタンを除く)、それぞれの動作が開始されます。動作が終了するとライトが消灯します。

食品を真空処理や密封処理する場合、あらかじめ(E)のフードボタンでドライ(乾燥、水分が少ない食品)、またはモイスト(湿気、水分が多めの食品)を選択します。

A: パルス真空ボタン(青)

手動で真空操作のみをおこなうボタンです。

押し続けている間は青色ライトが点灯し、真空処理(空気吸引)を続けます。放すと吸引が停止し、ライトも消灯します。

圧に弱い食品(きのこ類、パンなど)の真空処理を適度なところで調整、停止できます。

B: 真空&シールボタン(青)

ボタンを押すと真空処理に続いて密封処理を自動でおこないます。

通常はドライモードで動作します。吸引動作中は青色ライトが点滅し、密封処理が始まると(D)の緑色シールボタンが同時に点滅し始めます。

あらかじめ(E)のフードボタンでモイストを選択した場合、吸引動作中は青色ライトが点滅し、密封処理が始まるとライトが点灯に変わります。

C: 停止ボタン(赤)

本製品が稼働中にこのボタンを押すと、動作を停止します。

D: シールボタン(緑)

手動で密封処理をおこなうボタンです。

ボタンを押すと密封処理が始まり、動作中は緑色ライトが点滅します。密封処理が完了するとライトは消灯します。

真空&シールボタンで自動処理がおこなわれている場合で、吸引動作中にこのボタンを押すと、処理を停止して密封処理が開始されます。

吸引動作中に袋の中の食品に対する圧が強くなりすぎた場合に調整が可能です。

E: フードボタン

保存する食品の種別を選択します。

初期設定はドライです。ボタンを押すごとにドライとモイストが切り替わり、選択されたモードのランプが点灯します。

ドライ : 乾燥した食品、水分が少ない食品の場合に選択します。

モイスト : 生鮮肉などの、水分が多めの食品を真空処理する場合に選択します。

自動処理の場合、吸引動作は密封処理に入る前に一旦ストップします。水分のしみ出しが確認できます。また、ドリップや煮汁などが製品内に入るのを防止します。

使いかた

ソリス専用のフィルムロールを袋の形に加工する

ソリス専用のフィルムバック(袋)をご購入のお客様は10ページをご参照ください。

① 電源プラグをコンセントに差し込む。

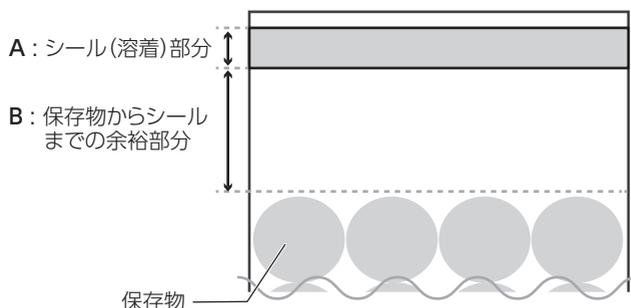
本体を平らな乾いた場所に置いてください。



濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電の原因となります。

② ソリス専用のフィルムロールを必要な長さに切る。

保存物(保存する食品や生活用品)を入れるのに十分な長さのフィルムロールを引き出し、できるだけまっすぐに切ってください。フィルムを袋に加工するためには次の長さが必要です。



■ 普通の保存物

A: シール(溶着)部分: 約2cm

B: 保存物からシールまでの余裕部分: 8cm以上(余裕を持って長めに切ってください。)

■ 水気のある食材など

A: シール(溶着)部分: 約2cm

B: 保存物からシールまでの余裕部分: 15cm以上(余裕を持って長めに切ってください。)



保存物からシールまでの余裕部分には食材を入れない
でください。

③ 左右のリリースボタンを引き上げて本体カバーを開けます。

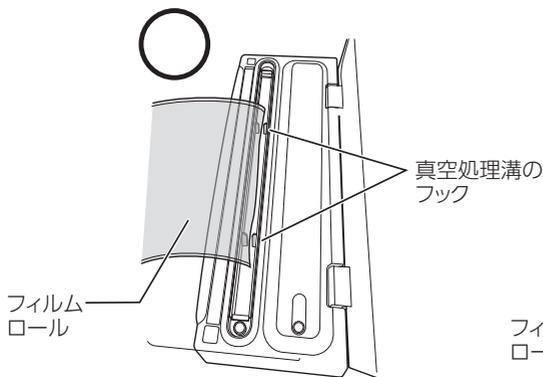
④ 切り取ったフィルムロールをセットする。

フィルムロールを真空処理溝のフックに納まるようにセットします。

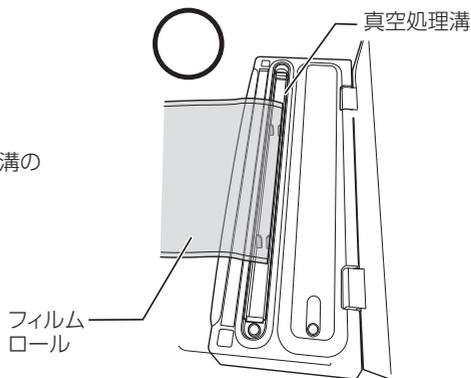
シールバー



<良い例>

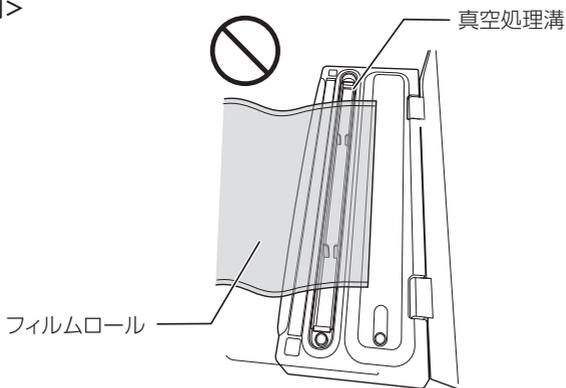


フィルムロールの切り口を真空処理溝のフックに合わせ、しっかり入れる。



フィルムロールの切り口が真空処理溝に収まっている。

<悪い例>



フィルムロールの切り口が真空処理溝からはみ出している。
／フィルムロールの切り口が真空処理溝に収まらず、上に
乗っている。



フィルムの内側が濡れていると密封のシール処理できない場合があります。
ペーパータオルなどで水気を拭き取ってください。

5 本体カバーの左右の角を両手で「カチッ」と音がするまで押さえる。

本体カバーを押さえるときに、リリースボタンを押さないようご注意ください。

リリースボタンが押されていると、本体カバーを確実に閉じることができません。



6 シールボタンを押す。

緑色のライトが点滅し、シール(溶着)処理が始まります。



7 本体両側のリリースボタンを引き上げて本体カバーを開き、シール(溶着)されたフィルムバック(袋)を取り出す。

 シール処理直後は、本体のシールバーとフィルムバックのシール(溶着)部が高温になっているため、これらに触れないようご注意ください。誤って触れると、やけどの原因になります。



8 取り出したフィルムバック(袋)のシール部がまっすぐになっていて、しわがなく接着されていることを確認する。

シール(溶着)が十分でない場合はシール(溶着)部を切り取り、再度シール(溶着)処理をおこなってください。

フィルムバック(袋)を使って真空処理する

■ お願い—真空処理の前に必ずお読みください

- 真空処理中に空気の通り道が塞がれるのを防ぐため、保存物を重ねたり、無理に大きなものを入れたりしないでください。
- 水気のある食材などの保存物を袋に入れて真空する場合は、少なくとも保存物から開口部まで15cm以上のスペースを確保して真空処理をおこなってください。開口部までのスペースが少ないと、水気はみ出てシール処理されない場合があります。
- 尖ったものを真空処理すると袋に穴が開く場合があります。ペーパータオルなどで包んでから真空処理をおこなってください。
- おもちなどのように粉をまぶしている食材の場合は、粉がシール部に挟まってしまい、空気が流入する場合があります。
- 発酵する食品を保存すると、内部から膨れる場合があります。
(例) むか漬け、キムチ、内臓の残った生魚、干物など
- 衛生上の問題からフィルム袋の再利用はしないでください。また、真空パックなどの密封した食品でも常温で放置すると、細菌が増殖し、食中毒の原因になる恐れがあります。適切な冷蔵保存や加熱処理をしてください。

① 電源プラグをコンセントに差し込む。

本体を平らな乾いた場所に置いてください。



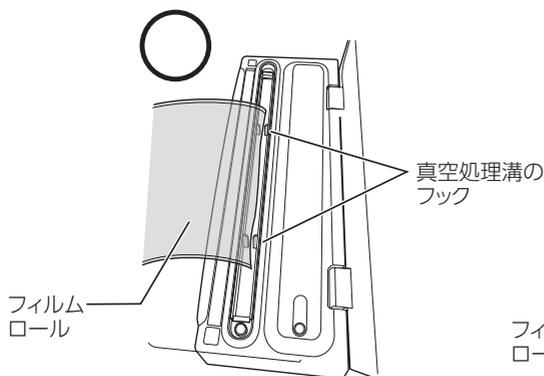
濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電の原因となります。

② 左右のリリースボタンを引き上げて本体カバーを開けます。

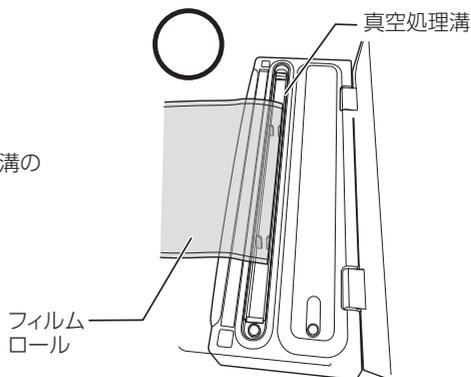
- ③ 保存物を入れたフィルムバック(袋)の開口部が、真空処理溝のフックに納まるようにセットする。



<良い例>

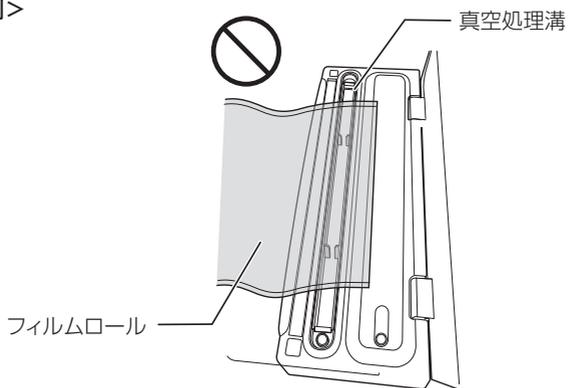


フィルムロールの切り口を真空処理溝のフックに合わせ、しっかり入れる。



フィルムロールの切り口が真空処理溝に収まっている。

<悪い例>



フィルムロールの切り口が真空処理溝からはみ出している。
／フィルムロールの切り口が真空処理溝に収まらず、上に乗っている。

 フィルムの内側が濡れていると密封のシール処理できない場合があります。
ペーパータオルなどで水気を拭き取ってください。

4 本体カバーの左右の角を両手で「カチッ」と音がするまで押さえる。

本体カバーを押さえるときに、リリースボタンを押さないようご注意ください。

リリースボタンが押されていると、本体カバーを確実に閉じることができません。



5 食品を保存する場合は、フードボタンを押して食品種別を選択する。

ドライ 乾燥した食品、水分が少ない食品の場合に選択します。初期設定はドライモードです。

モイスト 生鮮肉などの、水分が多めの食品を真空処理する場合に選択します。自動処理の場合、吸引動作は密封処理に入る前に一度停止し、水分のしみ出しを確認できます。また、ドリップや煮汁などが本体に入るのを防止します。

6 真空&シールボタンを押す。

真空処理の後、密封のシール処理を自動でおこないます。

5で選んだ食品種別により動作が異なります。

ドライ 吸引動作中は青色ライトが点滅し、密封のシール処理が始まると緑色シールボタンが同時に点滅し始めます。

モイスト 吸引動作中は青色ライトが点滅し、密封のシール処理が始まるとライトが点灯に変わります。



7 真空処理と密封処理が終了したら、ライトが消灯していることを確認する。

8 本体両側のリリースボタンを引き上げて本体カバーを開き、シールで密封されたフィルムバック(袋)を取り出す。

 シール処理直後は、本体のシールバーとフィルムバックのシール(溶着)部が高温になっているため、これらに触れないようご注意ください。誤って触れると、やけどの原因になります。



9 取り出したフィルムバック(袋)のシール部がまっすぐになっていて、しわがなく接着されていることを確認する。

シール溶着や袋の密封が十分でない場合は、シール(溶着)部を切り取り、再度シール(溶着)処理をおこなってください。



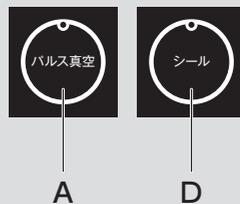
10 使用後は、コンセントから電源プラグを抜く。

パルス真空ボタンとシールボタンの活用

ソリスバックプレミアム(本製品)は、高密度真空を実現できる真空パック機器です。

圧に弱い食品(きのこと類、パンなど)や形くずれしやすい食品などを適度な真空状態で密封保存したい場合には、手動で真空度合いをコントロールする方法がおすすめです。真空度合いを見ながら進められるので、食品に過度の圧がかからないようにできます。

- ① パルス真空ボタン(A)を押して真空吸引を開始。
- ② ボタンを押したまま食品の状態を見る。
- ③ 適度な真空状態が作れたところでボタンから指を離し、吸引を止める。
- ④ シールボタン(D)を押して密封を開始。



ご利用にあたって

- シールした後は1分程度休止し器具を冷ましてください。冷却時間をあけずに次の処理を続けた場合、電熱線がオーバーヒートしヒューズが破損する原因となります。
- 毎回使用後は真空処理溝の中にこぼれた液体などを拭き取ってください。
- ソリス専用フィルムや袋を使用してください。器具の破損を防ぎ最適な処理をするため、他のフィルムや袋を使用しないでください。

袋の破裂防止について

密封した袋を電子レンジにかけると袋が破裂する場合があります。電子レンジ使用の際は、必ず密封した袋の一部をカットしてから使用してください。加熱時間は、電子レンジの使用説明で確認をして、加熱しすぎないように注意してください。また、油分の多い食品は袋から取り出し、他の容器に移し替えて加熱してください。

お手入れのしかた

- お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 水または薄めた台所用洗剤(中性)を含ませた布で汚れを拭き取ってください。ベンジン、アルコール、シンナー等の溶剤は使用しないでください。
- 真空処理溝のガスケットおよびドリフトレイは取り外して洗浄ができます。汚れは水ですすぐか、中性洗剤で洗ってください。洗浄後は完全に乾かした後、真空処理溝に戻してください。
- 器具を片づける前やご使用前には、完全に乾燥させてください。
- 器具に油を差さないでください。
- 保管するときには、本体カバーがロックされていないことを確認してください。本体カバーをロックして閉じたままにすると、シールバーが変形し機能に影響を及ぼすおそれがあります。
- シールバーに圧力がかからないよう、上にものを置かないでください。シールバーは消耗品のため保証対象外です。
- 電源コードは本体裏側の収納部に収めてください。器具にコードを巻き付けしないでください。



ドリフトレイ

故障かな?と思ったら

現象	考えられる原因	対応
本体が動かない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源コードに破損がある。	電源コードに破損があれば、ソリスリペアセンターに修理を依頼してください。
	連続使用している。	連続使用してオーバーヒートすると、スイッチが自動的に切れます。電源コードをコンセントから抜いて、本体を冷ましてください。
真空処理されない	袋が正しく位置(真空処理溝)に入っていない	保存袋の開口部を折り曲げ、真空処理溝の底にしっかりと入れ込んでください。
	器具や袋が汚れや破損している	袋の切り口、シールバーやガスケット部の周りの汚れを取り、破損やねじれがないか確認してください。必要な場合は新しいものと交換してください。
	袋が破れている	袋に少量の空気を入れて封をし、水に沈めてください。泡が出てくれば空気が漏れていますので、別の袋をご使用ください。
	袋が濡れている	袋の内側と開口部分の水気を、ペーパータオルなどで拭き取ってください。
	本体カバーが開いている	本体カバーの左右の角を両手で「カチッ」と音がするまで押さえてください。本体カバーの左右が閉じられていることを確認してください。
	水分がはみ出ている	水気のある食材を袋に入れて真空する場合は、少なくとも食材から開口部まで15cm以上のスペースを確保し真空処理を行ってください。開口部までの必要なスペースがないと水気がはみ出てシール処理されない場合があります。

真空処理後に袋が密封されない	真空が充分できていない。	真空センサーの働きにより、圧力が充分でない場合、密封処理は自動的に開始されません。再度処理をおこなってください。
	付属品が適正でない。	ソリス専用付属品をご使用ください。
密封後に空気が入る	食品が腐敗している。	生鮮野菜や果物の中には、ガスを発したり発酵したりするものがあります。袋の中の食品を確認し、発酵していれば廃棄してください。また、冷蔵庫内の温度の変化も腐敗の原因になります。疑わしい食品は廃棄してください。
フィルムが溶ける	機器を連続使用している。	シールバーやコンタクトバーがオーバーヒートすると、フィルムが溶けるおそれがあります。電源プラグをコンセントから抜いて、本体カバーを開けて中のパーツを冷ましてください。
キャニスターが密封されない	空気吸引ホースが正しく装着されていない。	空気吸引ホースがキャニスターの蓋の穴、および空気吸引口にしっかり装着されているか確認してください。
	キャニスター本体に破損がある。	必要な場合は新しいものと交換してください。また、キャニスターの蓋の周りにすき間がないか確認してください。
キャニスターの真空状態が持続しない	キャニスターのダイヤルの位置が間違っている。	キャニスターの蓋のダイヤルがSEALの位置にあるか確認してください。

上記の対応で問題が解決しない場合は、ソリスお客様相談窓口にご連絡ください。

仕様・消耗品 / 別売品について

品名	ソリスバックプレミアム574
品番	SK574
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	110W
シール可能幅最大	30 cm
脱気圧	600mmHg (-0.8bar)
接着部温度	110℃
シール時間	約8秒
休止時間	1分以上(続けて使用するときに必要な休止時間)
外形寸法	約 37 x 7 x 14.5 cm
質量	約 1.6kg
電源コードの長さ	約 1.2m
フィルム厚最大	2.5mm
付属品	・空気吸引ホース 1本 ・ソリス真空パック器フィルムバッグ(20 x 30cm : 5枚/30 x 40cm : 5枚)
生産国	中国

消耗品 / 別売品

■ ソリス真空パック器フィルムロール



品番	SKA92251
形状	幅 約 20cm x 長さ 約 6m
入数	2本

■ ソリス真空パック器フィルムバッグ



品番	SKA92261
形状	幅 約 30cm x 長さ 約 20cm
入数	50袋

■ ソリス真空パック器キャニスターセット



品番	SKA92278
容量	約 700ml / 1,400ml / 2,000ml
入数	3個、空気吸引ホース付き

アフターサービスについて

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に「故障かな?と思ったら」に記載されている内容をご確認いただき、異常があるときは直ちにご使用を中止し、お買上げの販売店にご依頼ください。

保証期間中の場合

お買上げの販売店へ保証書を添えて、本体をご持参ください。

保証期間を過ぎている場合

お買上げの販売店にご相談ください。修理によって製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

当該製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。

ソリスお客様相談窓口

電話 : 03-6420-3053

Fax : 03-6420-0866

受付時間: 9:30 ~ 17:30 (平日のみ)

ソリスジャパン株式会社

〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-18-3 目黒第一花谷ビル501

修理についてのご質問

ソリスリペアセンター

電話 : 049-281-2712

Fax : 049-281-1974

受付時間: 9:30 ~ 17:00 (平日のみ)

〒350-0269 埼玉県坂戸市につさい花みず木5-7-3

